

令和6年度 谷山北中学校グランドデザイン

育てたい4つの心

- ◆ 思いやりの心
- ◆ 感謝の心
- ◆ 振り返りの心
- ◆ 勤労の心

学校は教師にとって

「教育活動実践の場」

学校は生徒にとって

「学習の場」「楽しく安全な場」

学校は保護者にとって

「子どもと共に学ぶ場」

3つの心得

- ◆ 元気なあいさつ
- ※ 語先後礼
- ◆ 時間厳守
- ◆ 無言清掃

学校教育目標

生徒一人一人の“命”が輝く学校のために

思いをめぐらし、自ら考え、判断し、他者と協働できる たくましい生徒の育成

地域人として生きる

- ◆ 地域で生きる一人として地域の先人を敬い、地域に貢献できる生徒を育てる。

校訓

「精気」「自主」「友愛」

《経営の基調》日本国憲法、教育基本法並びに鹿児島県・鹿児島市教育振興基本計画等の重点施策に基づいて、生徒や家庭・地域の実態を踏まえた教育を推進する。

- 教育の質の向上を目指した「働き方改革の実践・推進」
- 「信頼される学校づくり推進委員会」
- 教育のDXに向けた、GIGAスクール構想の充実
- 一小一中9年間の連携を通じた目指す生徒像の育成

T: TRY (挑戦)
E: Enjoy (楽しむ)
A: All (みんなで)
M: MIX (連携)

TEAM谷北

気付きと実践できる生徒・職員
【礼を正し】【場を清め】【時を守る】

た: 立ち止まって
に: ニッコリ笑顔で
き: 気持ちのよい
た: 谷北あいさつ

キャリア教育の推進 : 「生きる」が「生かす」へ、「生かす」が「生かされる」へ、「生かされる」が「よりよく生きる」に!

めざす保護者像

- 1 子どもと語り、共に学ぶ保護者
- 2 規範意識を身に付けさせる保護者
- 3 基本的な生活習慣を身に付けさせる保護者
- 4 自らの姿をもって生き方を示す保護者

めざす教師像

- 1 心身ともに健康で人間性豊かな教師
- 2 教育公務員としての自覚を持ち職務に励む教師
- 3 業務改善に努め、研究と修養に励み自己向上を目指す教師
- 4 深い愛情と生徒理解に立って指導する教師
- 5 生徒・保護者・地域から信頼される教師

めざす地域像

- 1 安全安心な環境がある地域
- 2 先輩や先人に学ぶ場がある地域
- 3 お互いあいさつが飛び交う地域
- 4 生徒を励まし育てる地域

学校スローガン (幸せになる)

「生きる」ために「生かす」

- 自分や周りの人の命を輝かせる(大切にすること)
- 生き抜くためのキャリア(アイテム)を身に付けること
- ・知 : 主体的に学び、判断できる力
- ・徳 : 思いをめぐらし、行動できる力
- ・体 : どんな困難にも耐え、行動できる力

めざす生徒像

- 1 思いやりの心を持ち、友達と協力できる心豊かな生徒
- 2 よく考え、(自ら判断し)、正しいことができる生徒
- 3 目標を持ち、意欲的に進んで学習する生徒
- 4 (困難にも立ち向かい)粘り強く、最後まで頑張り抜くたくましい生徒

キャッチフレーズ (合い言葉)

- 「してみせて」、「言って聞かせて」
- 「させてみる」
- ⇒ そうでなければ、人は動かない。

めざす学校像

- 1 明るく、誠実で活気のある、楽しい学校
- 2 落ち着きと秩序のある、きれいな学校
- 3 生徒一人一人の思いや願いを大切にする学校
- 4 生徒、保護者や地域から信頼される学校

1 学力の向上

- (1) 学習意欲の向上と学習習慣の確立(進路の実現)
 - ※ 授業につながる家庭学習の実践(自ら学ぶ学習課題の効果的活用)※学び方を学ぶ
- (2) 「分かる」「できる」「使える」「生かせる」の授業実践
 - ※ 「学び」が、よりよい生活や生き方に生かせるように
- (3) 指導法の工夫・改善と魅力ある授業の展開(教えずぎない授業)
 - ※ 論理的思考の構築につながる指導法の工夫(学び合い:授業リーダー)
 - ① 一人一人に寄り添った支援(少人数・習熟度別)
 - ② 教育機器等の効果的活用(ロイノートやなびの活用)
- (4) 教職員の資質向上
 - ① 職員研修の実施(教科の枠を超えた相互授業参観とワークショップ型授業研修の推進)
 - ② 指導技術の向上(道徳科の授業づくりと評価の在り方の研究推進をとおして)
 - ③ 研究実践への挑戦(更なる学力向上に向けた研究・実践)
 - ※ 主体的・対話的な深い学びの実践に向けて

各種学力調査平均通過率全国・県平均以上

メディアコントロールの推進(睡眠の確保)

家庭学習時間「1年90分、2年120分、3年150分」達成率80%

家庭学習強調期間 達成率80%

2 生徒指導の充実

- (1) 生徒指導提要(改訂版)に基づいた校内指導態勢の充実と確実な情報交換及び全職員(チーム)による共通理解と共通実践
- (2) いじめ、不登校、問題行動等への的確な対応と指導
 - ① いじめ実態調査の確実な実施と適切な管理(年5回の実施と公表)
 - ② いじめ問題への組織的対応と見届けの徹底
 - ③ 不登校生徒一人一人に寄り添った、思いを届ける組織的対応
 - ④ ネットトラブルやネット依存防止への取組(外部機関との連携)
 - ⑤ 保護者及び関係機関を交えた諸課題の協働的解決
- (3) 家庭・地域・関係機関との緊密な連携の強化
- (4) 積極的生徒指導(支援)の充実
 - ① 縦割り・無言清掃と語先後礼(礼儀)の実践
 - ② 行事を通じた「振り返り」と「学び」の実践
 - ③ 県自転車安全条例への対応(ヘルメット及び保険の加入)

気持ちの通う挨拶が交わされる学校(いつでも、誰とでも、何回でも)

いじめ問題見逃しゼロと100%の解決

不登校生徒新規出現率ゼロ%

3 「豊かな心と健やかな体」の育成

- (1) 人権教育の充実(人権週間の設定)
- (2) 道徳及び学級活動を通じた体験的学習の充実
 - ① 「考え、議論する道徳」の実践と評価の研究
 - ※ 担任、副担任等による学年一斉授業の実施
 - ② 「ライフスキル教育の充実」(エカクターの要素を取り入れた教育)
- (3) 生徒会活動の充実
 - ① 自治的活動(気付き、考え、実行する)の充実・実践
 - ② ボランティア活動の推進
- (4) 読書活動の充実(読み聞かせやピリオバトル等への挑戦)
- (5) ガイドラインに沿った適切な部活動の運営
 - ※ キャプテン会議の充実:部活動生による秩序ある学校づくり
- (6) 一校一運動(チャレンジ鹿児島)の推進
- (7) 清掃活動の充実(縦割り清掃の開始)と校内設営の充実
- (8) 新しい生活様式に基づく感染防止の推進

う歯治療率50%の達成

平均読書冊数50冊

歩いて登下校の推進

心に届く掲示物

4 「開かれた学校づくり」

- (1) 家庭、小学校、地域、関係機関との緊密な連携の推進(外部講師・地域資源の活用促進)※ C・Sに向けての協働体制の確立
- (2) 地域行事への積極的参加と地域貢献
 - ※ 職場体験学習や校区運動会等、地域に貢献できるキャリアパスポート活用
- (3) 学校からの積極的情報発信
 - 南日本新聞等「若い目」への応募(NIEの実践)
- (4) 学校評価等の充実(PDCA)
 - ・教職員:学期末学校評価等
 - ・生徒:保護者・教職員による「学期振り返りシート」の活用(共に振り返り、今後を生かす!)
 - ・学校評議員委員による学校評価(道徳の授業の参観)

思いを届ける各種だよりの発行

世界へ発信 我が母校「HP更新(1回/月)」

生徒、学校、地域が輝く(新聞掲載・TVへの紹介)

郷土愛を育む地域・社会教育関係行事等への参加